

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド配信
集会長講演	PL	佐々木 吉子	グローバル時代における持続可能なクリティカルケア看護の探求	○
特別講演1	SL1	川口 孝泰	ユーザーがロボット/AIを正確に理解して正しく利用するために	○
特別講演2	SL2	AdrianoFriganović	CULTURAL DIVERSITY IN CRITICAL CARE	○
特別講演3	SL3	大友 康裕	頻発する災害を経験した我が国の対策の現状—看護の役割—	○
特別講演4	SL4	岩間 恵子	米国におけるクリティカルケア看護最前線	○
特別講演5	SL5	若林 健二	クリティカルケア領域における橋渡し研究の今とこれから	○
教育講演1	EL1	井出 恵伊子	クリティカルケア領域の診療報酬の展望	○
教育講演2	EL2	辰巳 陽一	クリティカルケアにおける心理的安全性	○
教育講演3	EL3	阿部 靖子	クリティカルケア領域における医療メディエーション —入院時重症患者対応メディエーターの実践を通して—	○
教育講演4	EL4	横堀 将司	多職種連携で戦う外傷診療: 戦略・戦術・チームワーク	○
教育講演5	EL5	酒井 朋子	重症患者のリハビリテーション—コロナ診療からの学び—	○
教育講演6	EL6	松田 直之	敗血症の病態と治療—今後の展望	○
教育講演7	EL7	北村 愛子	クリティカルケア領域における終末期ケアに対するスピリチュアルケア	○
シンポジウム1	SY1-1	島山 淳司	重症COVID-19患者の長期予後 - PICS-COVID study-	○
	SY1-3	牧野 晃子	ICU退室後の途切れないTransitional careを考える	○
	SY1-4	松井 憲子	A病院高度救命救急センターにおけるPICS外来の実際と課題	○
	SY1-5	瀧口 千枝	集中治療後患者の機能回復を目指したフォローアップシステムの構築	○
	SY2-1	島内 淳二	「患者にとって最善」を導き出すとはなにか	○
シンポジウム2	SY2-2	豊島 美樹	患者の事前意思から生命維持治療の中止を決断した家族の代理意思決定支援の実際と医療者間の倫理調整	○
	SY2-3	石塚 紀美	意思決定支援における倫理的ジレンマの解決とdifficulties	○
	—	宇都宮 明美	指定発言	○
	SY3-1	亀田 茂	私の経験した日本とアメリカの看護	○
シンポジウム3	SY3-2	大森 智美	看護教育者としてのキャリアビジョンを描いて	✗
	SY3-3	木澤 晃代	多様なキャリアの活用と活躍促進のための支援	○
	SY3-4	森 一直	診療看護師（NP）のキャリア形成と求められる支援	○
	SY4-1	志村 知子	外傷患者に対する看護ケア—創傷管理に焦点をあてて—	○
シンポジウム4	SY4-2	渡邊 直貴	当院救命救急センターにおける重症外傷患者のリハビリテーションの実際	○
	SY4-3	浅田 宗隆	クリティカルケアからリハビリテーションと栄養管理を看護師が行うと在宅復帰の可能性が広がる	○
	SY4-4	新山 和也	当院における看—看連携を深めるための取り組み	○
	SY5-1	松本 幸枝	クリティカルケア領域における身体拘束最小化へのチャレンジ 倫理的側面から考える身体拘束の問題	✗
シンポジウム5	SY5-2	伊藤 聰子	せん妄患者にとっての安全確保とは	○
	SY5-3	河合 佑亮	身体抑制最小化に向けての医療現場での課題	○
	SY5-4	門馬 康介	身体拘束最小化に向けての取り組み	○
	SY5-5	梅田 亜矢	身体拘束最小化に向けた患者の予定外抜去の動作解析に関する研究	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	オンデマンド配信
シンポジウム6	SY6-1	田山 聰子	クリティカルケア領域から考えるACP～一般病棟での療養に繋ぐ～	○
	SY6-2	上石 韶	クリティカルケアが必要ながん患者：治療、意思決定、終末期ケア	○
	SY6-3	古川 文子	病棟とICUをつなぐ生活者である患者へのクリティカルケア	○
	SY6-4	三島 有華	治療の場がかわってもpatient-centered careを提供する多職種連携のコツ～病棟からICU、そして病棟へ～	○
パネルディスカッション1	PD1-1	泥谷 朋子	序説～BCPとBCM～	○
	PD1-2	熊野 耕	災害時の病院ICUのサステナビリティ	○
	PD1-3	宮崎 博之	救急医療とサステナビリティ（派遣とBCM）	○
	PD1-4	大山 太	国際災害支援とサステナビリティ	○
	PD1-5	山崎 範子	手術室のサステナビリティ	○
パネルディスカッション2	PD2-1	村田 洋章	高齢者の身体・認知面の特徴	○
	PD2-2	丸谷 幸子	高齢者の栄養管理	✗
	PD2-3	三須 侑子	高齢者のせん妄への対応	○
	PD2-4	小島 朗	クリティカルケアにおける高齢患者への支援—早期回復から看取りまで— 高齢者が抱える終末期の問題	○
パネルディスカッション3	PD3-1	森安 恵実	北里大学病院のRapid Response Systemの現状と課題	○
	PD3-2	笹倉 祐輔	当院におけるRapid Response Systemの現状と課題、今後の取り組みについて	○
	PD3-3	菅 衍也	中規模病院看護部RRTの5年間における現状と課題	○
	PD3-4	劍持 雄二	心理的安全性を確保したCCORが院内急変を未然に防ぐ	○
パネルディスカッション4	PD4-1	後藤 順一	ICU～病棟へ Critical Care Outreach Systemの導入に向けて	○
	PD4-2	比田井 理恵	第三次救急医療施設から在宅医療ケアにつなげる未来に向けて	○
	PD4-3	西 奈緒	シームレスな生活支援を目指して～連携部門の取り組み～	○
	PD4-4	箱崎 恵理	ポストクリティカル患者・家族ケア訪問看護の視点からー	○
パネルディスカッション5	PD5	森 みさ子	—	○
	PD5	齋藤 大輔	—	○
	PD5	山内 典子	—	○
	PD5	酒井 郁子	—	○
パネルディスカッション6	PD6-1	松岡 由起	当院におけるJCI基準に基づいた疼痛管理の取り組みについて	○
	PD6-2	村岡 修子	処置のための鎮静管理	○
	PD6-3	水上 奈緒美	クリティカルケアにおける国際基準 ～重症化予防及び急変の早期発見から救命における取り組み～	○
	PD6-4	浅田 美和	急性期病院における国際患者安全目標 (International Patient Safety Goals ; IPSG)	○
パネルディスカッション7	PD7-1	塙田 容子	高度医療を受ける患者の退院後を見据えたクリティカルケア	○
	PD7-2	堀部 達也	集中治療室における患者のリハビリテーションのあり方	○
	PD7-3	江口 友英	高度医療を受ける患者のこれからについて -臨床工学技士の視点から-	○
	PD7-4	小澤 敏子	在宅で高度医療を受ける患者の支援	○

セッション名	演題番号	演者 ※敬称略	演題名	オンデマ ンド配信
パネルディスカッション8	PD8-1	生駒 周作	スペシャリストとジェネラリストの協働 ～スペシャリストの立場から～	<input type="radio"/>
	PD8-2	原田 佳代子	重症呼吸不全患者の効果的なリハビリテーションの継続 ～ICUと一般病棟の連携に焦点を当てて～	<input type="radio"/>
	PD8-3	佐藤 悅子	より質の高い看護に向けたスペシャリストとジェネラリストの協働 ～Win-Winに協働するための秘訣とは～	<input type="radio"/>
	PD8-4	森塚 優也	クリティカル領域における多職種連携 ～診療看護師（NP）に求められるスペシャリストとしての実践とは～	<input type="radio"/>
パネルディスカッション9	PD9-1	井上 茂亮	PICSの最新知見と予防を指向した栄養療法	<input type="radio"/>
	PD9-2	中村 真巳	PICS予防のための多職種カンファレンスの成果と課題を考える	<input type="radio"/>
	PD9-3	寺山 圭一郎	PICS予防の障壁と成功のための秘訣－理学療法士の立場から－	<input type="radio"/>
	PD9-4	茶谷 美	PICS予防の障壁と成功のための秘訣	<input type="radio"/>
フォーラムディスカッション	FD	井上 智子	—	<input type="radio"/>
	FD	道又 元裕	—	<input type="radio"/>
	FD	浅香 えみ子	—	<input type="radio"/>
	FD	菅原 美樹	—	<input type="radio"/>
	FD	田戸 朝美	—	<input type="radio"/>
	FD	中田 諭	—	<input type="radio"/>
市民公開講座	PEL	関谷 宏祐	人生最期に備える－アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)とはなにか	<input type="radio"/>